

# 「いのちを守る都市づくり【課題編】～東日本大震災から見てきたもの」

## の発刊について

本書「いのちを守る都市づくり」は、東日本大震災をうけて大阪市立大学が進めている「3つのアクションー被災地支援・都市防災研究推進・地域防災支援」の中で、特に地域防災支援を展開するための防災読本として、高校生・大学生から、救命救急に関わる専門家、各種ボランティア、各種企業など、広く一般の方々に読んでいただくことを目的に刊行いたしました。

内容は、東日本大震災から見てきた都市防災の課題を【25話】に整理して、現地情報を交えながら分かりやすく解説することとし、地震・津波・地盤液状化のメカニズムから、いのちを守る技術や仕組み、地域のコミュニティ・文化・産業の復興までの課題を幅広く説明しています。

<値 段> 1800円＋税(1890円)

<入手方法> 書店、および出版社(大阪公立大学共同出版会Fax:(072)-254-9539  
E-mail : omup@hs.osakafu-u.ac.jp)から購入



### <裏表紙紹介文>

「いのちを守る都市づくり」とは、ただ都市における建造物やライフラインなどの防災力を見直すことではなく、そこにいる「人の力」、そこで営まれる「コミュニティの力」を高めて、「いのちを守る力」を育成させることです。災害の発生直後への対応のみならず、その後の復興、さらには災害への備えまでの、長いスパンでの社会的な取り組みが不可欠です。この冊子は、私たち大阪市立大学が東日本大震災に取り組んだ約1年間のプロジェクト活動から見てきた「いのちを守る都市づくり」の課題・【25話】をまとめたものです。